

県協会だより

第 48 号

令和 5 年 4 月 19 日

発行

鳥 取 県

バドミントン協会

総務本部 総務部



令和 5 年度スタートにあたり

会 長 福浜 隆宏

例年より 10 日も早く桜が満開。時期同じく、白い梨の花が山の斜面を一面に覆い尽くす中、令和 5 年度がスタートしました。過去 3 年間、暗雲をもたらしたコロナ禍も、ようやく出口が見えてまいりました。最も厳しい状況を乗り越えられたのは、一重に協会関係者お一人お一人の御尽力の賜であり、心より御礼を申し上げます。併せて、今しばらくは予防対策を継続せざるを得ないようですが、柔軟な対応で「選手ファースト」を実践していただきたくお願い申し上げます。

去る 3 月 18 日に開催されました代議員会により、令和 5 年度の事業計画案並びに予算案、規約改正案等を全会一致でご承認いただきました。その際いただいたご意見のひとつひとつを重く受け止め、さらなる改善を早急に図ることを、4 月 15 日開催の理事会で確認した次第です。

3 月の代議員会でお示した通り、今年度より県協会は、「総務本部」「事業本部」「強化本部」の機能強化を図ることにしました。理事会が方向性を決めるのではなく、「3 本部」の権限を強めることにより、より現場に近いところで一定の方針を決定した方が、現場主義を具現化できるとの判断です。従って、これまで以上に自由闊達なご意見やご提言を「3 本部」にお寄せいただくことが改革の肝となります。

併せて、県協会の課題である「世代交代」に関しても、「3 本部」が主体的に取り組みをはじめていただいております。差しあたり今年度は、総務本部のご提案により、来年度、本県で開催される「全日本社会人」に向けて、今年度開催地の京都市に、現役員と若手が一緒に視察を行い、大会運営のノウハウ継承に繋げることにしています。次年度以降も「人材育成」施策への予算付けを積極的に進め、10 年後の 2033 年に本県で開催の 2 巡目国体を睨みつつ、県協会幹部の世代交代を図っていく所存です。

「バドミントンって楽しい」「もっと上手になりたい」……。そんな子どもたちの声や目標実現を全力でバックアップ可能な県協会とするべく、引き続きみなさまのご理解とご協力を、重ねてお願い申し上げます。

令和 5 年度を迎えて

理事長 源 憲治

令和 4 年度第 2 回代議員会を 3 月 18 日に開催して、令和 5 年度事業計画、予算案及び新役員が決まり、新年度がスタート致しました。

昨年度もコロナとつきあいながら県協会事業をなんとか遂行してきました。第 39 回中国地区レディース選手権大会クラブ対抗・年齢別対抗、第 23 回中国地区シニア大会、なかでもバドミントン

S/Jリーグ 2022 鳥取大会においては、会員みなさんに協力をいただきながら準備を進めて観客動員も 800 余りと少なかったですが成功裏に終えることができました。新型コロナの影響は、全国各地の会場でも影響を及ぼし例年に比べ観客がかなり少なかったようです。

令和 5 年度は、第 66 回中国高等学校選手権大会(6/23～25 鳥取市)、第 66 回中国地区総合選手権大会(9/22～24 米子市)、第 38 回中国地区教職員選手権大会(12/26～27 倉吉市)で中国地区大会を開催します。併せて令和 6 年度に第 67 回全日本社会人選手権大会開催にあたり実行委員会を立ち上げ準備を進めていきます。会員の皆さんには、各大会にいろいろお世話になりますがよろしくご協力お願いします。

また、協会組織を一部改正しタイムリーな事業運営をつかさどる職務範囲に特化した常任理事会を設置し、各職務階層の不明確だった点については、職務権限を規約に明確にします。総務・事業・強化本部会を充実し、理事会定数の半分にあたる常任理事会とすることで、各本部会の企画立案を意見が言いやすくスピーディーな風通しの良い組織とし機関決定ができることと思います。

協会を支えているのは登録会員であり、その方々に満足いただける方針を示すため目標に向かって事業を推進して参ります。併せて「組織強化」と「人材育成」をスローガンとして協会運営を図って参りますので、皆様のご理解とご協力を今後ともよろしくお願いいたします。

総務本部

総務本部長 持田 隆昌

令和 5 年 3 月 18 日開催の令和 4 年度第 2 回代議員会において、新たに総務本部長を拝命致しました。どうぞよろしくお願いいたします。

さて、コロナ禍が完全には解消されない状況の中ではありますが、With コロナでの各種会議、イベント等の開催に、皆さまの力をお借りしながら努めてまいりますので、ご理解、ご協力の程、宜しくお願ひ申し上げます。

また、この度の代議員会では、役員交代もありました。新たな役員は次のとおりです。

◆鳥取県バドミントン協会新役員の紹介 (敬称略)

理事 徳丸 達也、油谷 哲志、山本 征也、花本 大地、稲田 阿美

◆令和 4 年度鳥取県バドミントン協会関係受賞者のご紹介 (敬称略)

○公益財団法人日本バドミントン協会

【顕讃賞】 石谷 浩

○公益財団法人鳥取県スポーツ協会

【体育功労章】 濱橋 喜幸

【スポーツ奨励賞(個人)】

徳丸 達也(鳥取城北高校嘱託職員)、

山本 正人(鳥取大学)、

桶田 彩乃(Cheerful 鳥取)、

湯谷 亮介

杉川 友和(米子北高校教諭)、

三村 俊彦(倉吉総合産業高校講師)、

花本 大地(三洋テクノソリューションズ)、

○鳥取県バドミントン協会

【顕讃賞(個人)】 木嶋 哲人(鳥取市協会)

【優秀賞（個人）】

宮本 和瑚乃（淀江小学校）、
湯原 明子（日吉津小学校）、
大野 実和（福米東小学校）、
新木 統（米子北高等学校）、
新木 颯（米子北高等学校）、
桶田 彩乃（Cheerful 鳥取）、
花本 大地（三洋テクノソリューションズ）、
湯谷 亮介、出石 哲也、山本 正人、
三村 俊彦、徳丸 達也、杉川 友和（米子北高校教諭）、福原 忠宣、青木 洋



【優秀賞（団体）】

米子北高等学校 男子バドミントン部
（新木 統、新木 颯、松内 煌、西川 裕暉、森山 由惺、田中 優聖、木下 晴希）

事業本部

事業本部長 植田 睦美

令和5年3月18日開催の令和4年度第2回代議員会で承認を受け、事業本部長を拝命しました。

4年に渡るコロナ禍での大会運営も漸く明るさが見えてきて、令和5年度はコロナ前に近い規模での大会開催が期待されるところです。感染症への備えはしっかりと行ったうえで、選手の皆さんに楽しんでいただける大会が開催できればと思っております。

令和5年度は、第66回中国高等学校バドミントン選手権大会（6月23日～25日：鳥取市）、第66回中国地区総合バドミントン選手権大会（9月22日～24日：米子市）、第33回中国地区教職員バドミントン選手権大会（12月26日～27日：倉吉市）と、3つの中国大会の県内開催が予定されています。

より多くの方に参加いただき、楽しんでいただくことを念頭に準備を進めていきたいと思っておりますので、選手の皆様、会員の皆様のご協力をよろしくお願い申し上げます。

◆3級審判員資格審査検定会の開催

令和5年度の3級審判員資格審査検定会を、以下のとおり開催します。

	東部地区	中部地区	西部地区
期日	令和5年5月28日（日）	令和5年6月17日（土）	令和5年5月7日（日）
場所	鳥取産業体育館	北栄町大栄体育館	米子市産業体育館

詳細は、県協会のホームページに掲載しますので、ご確認くださいませようお願いいたします。

強化本部

強化本部長 山本 明良

日頃は強化事業にご理解ご協力をいただき、ありがとうございます。

本年度も継続して強化本部長を拝命し、3年目の大役となります。

昨年度もコロナ禍にありましたが、国民体育大会他主要な大会が開催され、練習の成果を発揮でき

る場が出来たことはとても喜ばしいことでした。しかしながら、計画していた強化事業を中止・変更せざるを得ない状況もあったことは確かであり、本年度はすべての事業が予定通りに実施できることを望むばかりです。

さて、強化本部においては、本年度も次の大きな2つの柱のミッションの下、強化事業、普及・指導事業を進めています。

- ① 各種目が継続的に本国体ベスト8を果たすべく強化を図る。
- ② スポーツ指導員資格の取得を促進し、指導力の向上を図る。

強化事業においては、中学生サーキット大会、昨年度より新たに始めた、小学生サーキット大会及び強化指定選手のみを対象とした小中高バドミントンサーキットを継続し、小学生、中学生、高校生の強化に力を入れていきます。また、本年度は、2020年に開催中止となった鹿児島国民体育大会が特別国民体育大会として開催されます。ストレート種目は少年女子、その他は山口県岩国市で開催されるブロック大会で出場権を獲得し、少年女子と共に、特別国体において、ベスト8以上を目指します。

また、普及・指導事業においては、昨年度、スポーツ指導員資格（コーチ1）養成講習会を開催し、県内19名の皆さんが指導者資格を取得され、更には花本大地氏がスポーツ指導員資格（コーチ3）資格を取得されました。本年度は、中国地区協会においてスポーツ指導員資格（コーチ1）養成講習会の開催を検討しておりますので、開催スケジュール等が決まりましたらホームページ等でご連絡したいと思っています。幼児を対象にした親子でバドミントン教室についても東部・中部・西部地区の各々で継続して開催し、バドミントンの普及を図っていきます。

2033年に開催予定の二巡目わかとり国体に向け、強化本部としても鳥取県との連携を密にし、強化、普及・指導事業を実施してまいりますので、皆様のご協力をどうぞよろしくお願い致します。

バドミントン S/J リーグ 2022 鳥取大会を振り返って

鳥取県バドミントン協会副会長 濱橋 喜幸

2022年12月4日に鳥取県民体育館においてバドミントン S/J リーグ 2022 鳥取大会が新型コロナウイルス感染拡大の影響で正式には3年ぶりに開催されました。7月には東京の品川プリンスホテルにおいて開催地の代表を招いて開催地会議が開催され、S/J リーグ大会の概要が見えてきました。



その後、何回かの実行委員会、準備委員会での打合せを経て準備を進めてまいりました。

チケット販売協力、協賛企業への協賛依頼、大会当日の受付、オープニングセレモニー、レセプション、進行、審判、警備等の業務に携わって頂いた方々の陰の力があってこそ成功であったと感謝しております。今大会は、男子がトナミ運輸と金沢学院クラブの対戦、女子は山陰合同銀行と NTT 東日本の対戦という好カードでした。チケット販売数はコロナ禍の影響もあり 900 枚弱でした。来賓に平井伸治鳥取県知事をお招きし祝辞をいただきました。また、レセプションでは米子市、鳥取市のジュニアチームから選手を派遣して頂き、実業団チームの選手と楽しく試合をして頂きました。



S/Jリーグ選手の顔ぶれですが、この時期、A代表選手、B代表の選手は海外遠征に出てしまって、主力選手不在の大会になってしまいがちですが、鳥取大会にはA代表のトナミ運輸の保木・小林ペアが出演してくれました。あとで聞いた話ですが、本当は海外遠征に出る予定を1日延ばして鳥取大会に出て頂けたことが分かり、感謝した次第です。地元の山陰合同銀行チームは健闘むなしく負けてしまいましたが、多くの感動を与えてくれました。

今回の企画はコロナウイルス感染拡大がまだ収まらない中ではありましたが、県内外から多くの観客をお迎えしS/Jリーグ大会の人気の高さが改めて分かりました。今大会が無事成功裏に終えられたのは、ご協力いただきました協賛企業様、市町村協会関係者並びに部会連盟関係の皆様あってのことに改めて心より感謝申し上げます。

～公認コーチ3養成講習会に参加して～

強化本部 花本 大地

世界で活躍できる選手を育成する。それが、公認コーチ3保有者の目指すべき目標である。同時にそれを達成するために必要な知識やスキルを保有し、継続的な改善を行っていくことが必要な資格となる。

今回、公認コーチ3資格を取得するため、全競技共通科目講習として、東京（品川）で3日間、バドミントン専門科目講習として静岡で3日間、香川で4日間の研修を受けた。その他、岡山にて実技インターンシップにも参加し、実践的なコーチングスキルを学んだ。

正直、講義内容はグループワークから短期間での課題提出、実技演習など、かなりハードな内容であったが、自分自身のコーチングに対する考え方を見つめなおす機会にもなり、有意義な時間を過ごすことができた。また、他の参加者と交流を深めることができたことも大きな収穫となった。

先日、無事に公認コーチ3資格の合格通知も届き、今後は、今回の経験も踏まえ、鳥取県のバドミントンレベルの向上を図っていくとともに、あるべきコーチング像について、多くの指導者への提言・意見交換など、選手の技術力向上のみならず、県全体的なコーチングレベルの向上も図っていきたいと考えている。